

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより

横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>
E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp



8・9月号

「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪」

～いじめをなくすために、一人ひとりができること～

児童支援専任 青山 智美

今年度着任しました、青山 智美（あおやま ともみ）と申します。児童支援専任、特別支援コーディネーター、家庭科専科を担当しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

特別支援コーディネーターとしては、特別支援教室（パワーアップ教室）の運営にも携わっています。本校は今年度から2年間、特別支援教室（パワーアップ教室）の推進校になり、担当教員が増えて3名体制となっています。基本的に週1時間、教室とは別室で担当教員1名につき児童1～3名の少人数での学習支援を行っています。保護者の方々や児童の思いや願ひをもとに、学習内容や支援方法を校内で検討し、一人ひとりに寄り添ったスモールステップでの支援を行っています。ご質問等ありましたら、いつでも学校にご連絡ください。

さて、横浜市教育委員会が主体となり、毎年「横浜子ども会議」を実施しています。横浜の将来を担う子どもたちが「いじめ」を自分たちの問題として捉え、だれもが安心して生活できる、いじめの起こりにくい子ども社会をつくろうとする意欲や、自主的・実践的な態度を育むという意図の下、中学校ブロック会議と区の交流会が位置付けられています。

本校では中学校ブロック会議に向けて、各学級で「いじめをなくすために、一人ひとりがどのようなことができるか」を話し合いました。校内での意見を集約して、7月19日の浜中学校ブロック会議に本校代表児童の6年生2名が参加しました。浜中学校生徒会の皆さんの優しいリードのもと、本校の代表の二人は積極的に会議に参加し、本校の取組や意見を分かりやすく発表することができました。とても立派な姿でした。一部ですが、会議で発表された各校の取組や意見を紹介させていただきます。

「相手のことを考えた言動を意識する」「ルールやマナーを守る」「いじめに気付いたら声をかけたり、大人に知らせたりする」「嫌なことは嫌と言う」「他学年との活動を増やす」「何かあったらみんなて話し合える環境をつくる」「そもそもいじめとは何かを知る」等のたくさんの取組や意見が出ました。

その中で、根本的なことでもあり大切なことであると改めて感じたのは、「そもそもいじめとは何かを知る」という意見です。いじめとは何かを一人ひとりが理解していないと、「無自覚に誰かを傷付けてしまう」、「いじめられていることに気付けない」、「いじめを相談したり、報告したりできない」ため、いじめの未然防止やいじめをなくすことにつながりません。本校でも日々の指導の中で、今後も大切にしていきたいことだと再確認しました。そして、浜中学校ブロック会議で話し合ったことを、明日8月29日に磯子区役所で行われる磯子区交流会で代表児童が発表します。中学校ブロックや区内での交流を通して得たことを校内で共有し、「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる、よりよいさわの里小学校づくりにつなげていきたいと思ひます。

いじめとは

相手に対して、少しでも関わりある他の人が行う行動。心(気持ち)や体に影響を与えるもので、された相手が心身の苦痛を感じているもの。相手が嫌だと感じたら、いじめです。

いじめの種類

- ・冷やかしかからかい、悪口やおどし文句、嫌なことを言われる。
- ・仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ・ぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする。
- ・金品をたかられる。おごらされる。
- ・金品をかくされたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ・嫌なことや、はずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ・パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)や嫌なことをされる。

解消条件

いじめが止まっている状態が3か月間は続いていて、いじめられた相手が不安や心配がない。
「出典:横浜市いじめ防止基本方針」

本校ホームページの「いじめ防止基本方針」もご覧ください。

最後になりましたが、今年の夏も多くの災害がありました。被災された方々、関係の方々に心よりお見舞い申し上げます。